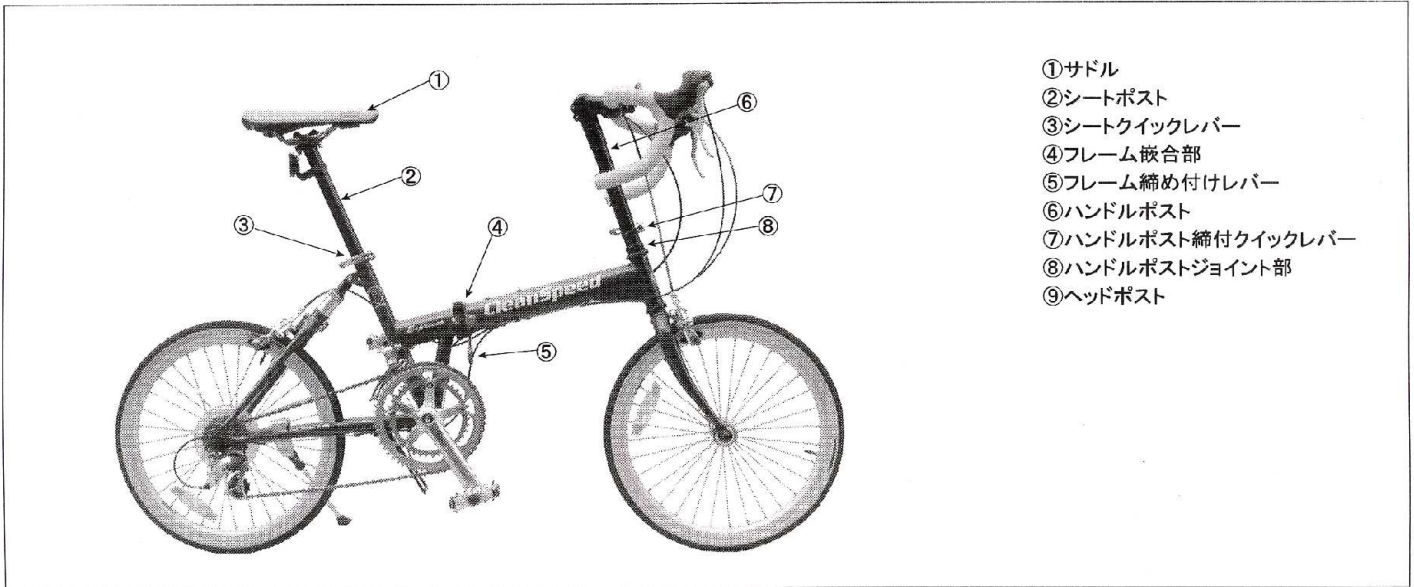


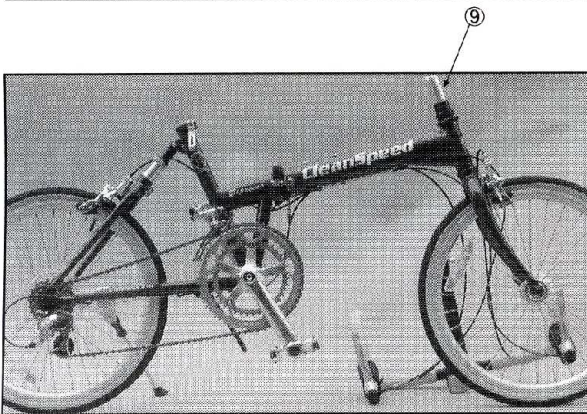
# 組み立て手順・各部名称



- 注1. ここで示す自転車は一度、販売店により完全に整備されたものを対象とします。  
 注2. 組み立て、折り畳みの際、ワイヤーのねじれやフレーム、ハンドルのジョイント部へのはさみ込みに注意してください。  
 注3. 折り畳み手順は、基本的に組み立て手順の逆になります。



- ① サドル
- ② シートポスト
- ③ シートクイックレバー
- ④ フレーム嵌合部
- ⑤ フレーム締め付けレバー
- ⑥ ハンドルポスト
- ⑦ ハンドルポスト締め付けクイックレバー
- ⑧ ハンドルポストジョイント部
- ⑨ ヘッドポスト

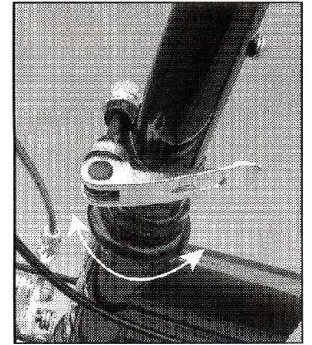


1. 折り畳まれた車体を、両手で前後輪が直線になるまで開きスタンドを前方に足で押して車体を立たせます。



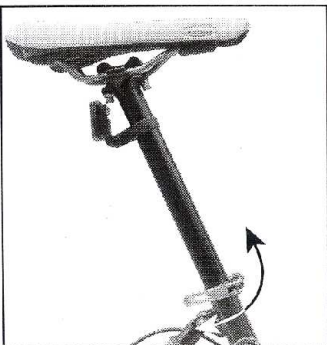
2. 車体の嵌合部をしっかりと押し合わせ、締め付けレバーをジョイント切り込み部へ押し込み、クイックレバーを下へ倒しロックします。

④注 クイックレバーは確実にレバーロックの爪に収まっている事を確認してください。



3. ハンドルポストをヘッドポストへ差し込み立たせます。ハンドルバーが前輪と直角の位置になるようにセットし、クイックレバーを内側に押し込みハンドルポストを固定します。

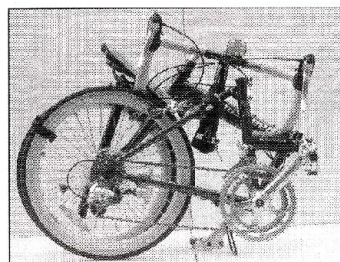
④注 ハンドルポストを固定後、自転車前方にハンドルバーと向かい合うように立ち、両手で前輪を挟み固定し、両手でハンドルバーを握り左右交互に回転させ、完全にハンドルバーがヘッドポストに固定されている事を確認してください。



4. シートクイックレバーが緩められている事を確認し、シートポストをフレームに差し込みます。サドルを適切な高さに調整し、シートクイックレバーを内側に押し込みシートポストを固定します。

調整後サドルを両手で持ち、左右にねじり完全に固定されている事を確認してください。

5. 輪行時には、キャリーバッグ（別売り）をご利用下さい。



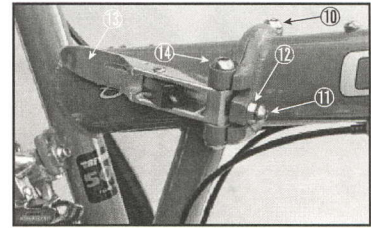
# 組み立て手順・各部名称

注1. ここで示す自転車は一度、販売店により完全に整備されたものを対象とします。

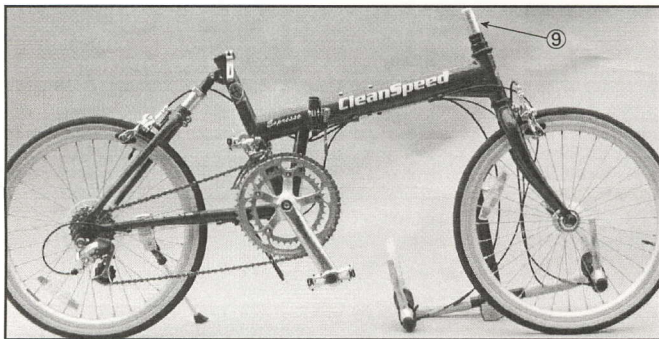
注2. 組み立て、折り畳みの際、ワイヤーのねじれやフレーム、ハンドルジョイント部へのはさみ込みに注意してください。

注3. 折り畳み手順は、基本的に組み立て手順の逆になります。

- ① サドル
- ② シートポスト
- ③ シートクイックレバー
- ④ フレーム嵌合部
- ⑥ ハンドルポスト
- ⑦ ハンドルポスト締付クイックレバー
- ⑧ ハンドルポストジョイント部
- ⑨ ヘッドポスト



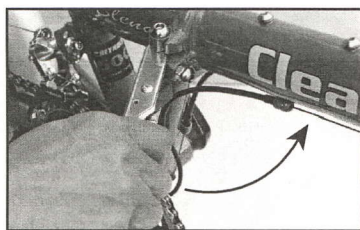
- ⑩ ヒンジシャフト固定ボルト
- ⑪ 沈頭ボルト
- ⑫ 緩み止めナット
- ⑬ QRレバー
- ⑭ QRレバーシャフト固定ボルト



3. ハンドルポストをヘッドポストへ差し込み立たせます。ハンドルバーが前輪と直角の位置になるようにセットし、クイックレバーを内側に押し込みハンドルポストを固定します。

⑧ ハンドルポストを固定後、自転車前方にハンドルバーと向かい合うように立ち、両足で前輪を挟み固定し、両手でハンドルバーを握り左右交互に回転させ、完全にハンドルバーがヘッドポストに固定されている事を確認してください。

1. 折り畳まれた車体を、両手で前後輪が直線になるまで開きスタンドを前方に足で押して車体を立たせます。

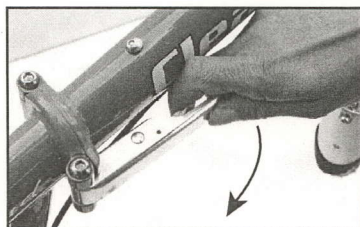


2-1. 車体の嵌合部をしっかり押し合わせ、QRレバーをフレーム側へ押し込みます。



2-2. QRレバーを右手の平で包むように押し当て、内側に向かってロック音(カチャ)がするまで押し込みます。

⑨ クイックレバーが確実に収まっている事を確認してください。



### QRレバーを開く場合

QRレバー外面に右手親指をあてがうように押し付け、内側の小さなロックレバーと共に軽く握り、外側に引きます。



4. シートクイックレバーが緩められている事を確認し、シートポストをフレームに差し込みます。サドルを適切な高さに調整し、シートクイックレバーを内側に押し込みシートポストを固定します。

調整後サドルを両手で持ち、左右にねじり完全に固定されている事を確認してください。

5. 輸送時には、キャリーバッグ(別売り)をご利用下さい。

### ヒンジ部の緩み調整

#### 1. 沈頭ボルトの微調整

- ・ 10mmのスバナレンチで緩み止めナットを $\frac{1}{8}$ 回転緩める(反時計回り)。
- ・ 5mmの六角レンチを使い沈頭ボルトを $\frac{1}{8}$ 回転緩め(反時計回り)、ボルトが外側に少し出るようにします。
- ・ 緩み止めナットを10mmのスバナレンチで、きつく締め付けます(時計回り)。  
(注: この時、沈頭ボルトが動かないように5mmの六角レンチで固定しておきます)
- ・ この微調整作業を少しずつ繰り返して、完全に緩みがなくなるまで丹念におこないます。

#### 2. ヒンジシャフト・QRレバーシャフト固定ボルトの調整(上下4箇所)

- ・ 5mmの六角レンチで完全に締め付けてください(締付けトルク: 90 ~ 150kg/cm)。

